



広報

いながわ

平成13年(2001年) 8月15日第608号

町花
つつじ



町木
松



昭和46年4月1日制定

編集・発行 猪名川町役場町長公室広報広聴係

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 0727 (66) 8707 ファックス番号 0727 (67) 2255
ホームページアドレス(URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

毎月1日・
15日発行

そのとき あなたは どうする？

震災の教訓を
忘れずに！



8月30日(木)～9月5日(水)
は、「防災週間」です。

関東大震災が発生した9月1日
を「防災の日」と定め、その日を含
む一週間は「防災週間」として、防
災意識を高めるための期間とされ
ています。

阪神・淡路大震災から6年半が
経過した今、震災の教訓をいつま
でも忘れることなく、万一の災害
に備えるため、町防災総合訓練を
実施します。

町防災総合訓練を実施

防災総合訓練

この訓練は、大規模な地震や風
水害の発生に備えて、防災関係機
関の皆さんや住民の方々と一体と
なった災害時の対応、技術の向上
と防災関係機関相互の連携強化を
図るための訓練です。

今回の訓練には、猪津小学校区
の自主防災組織をはじめ、防災関
係機関などから参加をいたたく予
定です。今一度、日頃のこのころ構
えのうえにおいて、より多くの方
の訓練参加と見学をお待ちしてい
ます。

また、訓練時には緊急車両がサ
イレンを鳴らしたり、県の消防防
災航空隊のヘリコプターが飛来し
ますので、あらかじめご承知おき
ください。

なお、駐車場が狭いため乗り合
わせてご来場ください。
問い合わせは、総務課(☎66・
8708)

▶ヘリコプターによる救出訓練(平成11年8月の防災総合訓練)

とき 8月31日(金)

午前10時～

ところ 猪名川町スポーツランド

阪神・淡路大震災で教訓したよ
うに、大災害で多数の被害者が発
生した際は、身近にいる家族、親
戚として付近住民などによる救出
・救助・消火などが最も重要で
す。

消防や警察、行政機関だけでは
規模的にも人員的にも時間的にも
不可能と考えられます。

この対応には、行政機関がなす
べき役割とその自覚をきっちりと
機能化し、平時の役割と災害発生
時の役割を的確に把握する訓練が
必要です。

その一環として各県、市町では
住民を交えて防災訓練を実施して
おり、有事の際に行政、住民が的
確にそれぞれの役割を果たし、
「自らの命は自ら守る」ことの
できるまちづくりを目指していま
す。

自主防災組織も防災総合訓練に参加

猪名川町では、災害発生時には
住民どうしが助け合い、平時には
災害発生に備えた訓練などを行
組織として全住民対象に各自自治
会ごとに自主防災組織を設けてい
ます。

今年度の「猪名川町防災総合訓
練」では、災害発生、災害活動、
町の復興という防災一連の行動の
なかで、行政機関の機能訓練、警
察・消防などの出動機関の活動訓
練、ライフラインの復旧訓練など
を行うとともに、今回は、地元
の猪津小学校区の自主防災組織に
指定避難所までの避難訓練、住
民による救出・救助訓練、消火訓
練などを実施します。



災害時に、迅速・的確に活動を行
うためには、一人ひとりが正確
な知識を持つことが大切です。地
震や風水害の基礎知識のほか、防
災資機材や消火器の取り扱い方、
避難誘導の手順や心算手当の心得
などを身につけておきましょう。

実際に災害が発生すると、なか
なかながら身が動かないもの
です。知識だけでなく、実際に
行動してみましょ。

問い合わせは、消防本部(☎
66・0119)へ。



▲消防職員による救出救助訓練(平成11年8月総合防災訓練)

主な訓練内容

①避難誘導訓練
避難者を収容するための避難所

の開設と避難者の誘導を行いま
す。

②初期消火訓練
バケツリレー、消火器および軽
可搬ポンプによる初期消火訓練を
行います。

③救出救助訓練
地震による倒壊ビルなどの負傷
者や、バスに残された乗客の救出
などを行います。

④救急救護訓練
仮設救護所を開設して、負
傷者の応急処置を行います。

⑤ライフライン復旧訓練
関西電力、ミツワ、NNT
西日本、大阪ガスの各社の専
門チームがそれぞれ復旧訓練
を行います。

⑥救護物資輸送訓練
救護物資などを避難所へ搬
送することにも、防災備蓄品
を避難所へ搬送します。

⑦同時多発火災消火訓練
危険物屋外タンク貯蔵所と倒
壊家屋からの同時火災発生に
よる消火を行います。



▲岸本加世子さん

平和を考える夏
今年は、岸本加世子さんを招
き、人権と平和について講演し
ます。

▽内容 「平和を考える」を
テーマにした本の展示
講演会の申込み、問い合わせは、
町長公室(☎66・8707)へ。
差別をなくそう
県民運動

◆講演会
▽とき 8月18日(土) 午後1
時30分(開場 正午)
▽ところ 文化体育館(イナ
ホール)
▽講師 岸本加世子さん(女優)
▽入場料 無料
◆展示
▽とき 9月5日(水) までの
図書館開館時間内
▽ところ 図書館
◆講演会
▽とき 8月25日(土) 午前10
時(正午)
▽ところ 中央公民館視聴覚
ホール
▽内容 講演「介助犬と生き
て」シンシアがくれた希望」
▽講師 木村佳友さん(介助
犬シンシアも登場します)
▽入場料 無料
問い合わせは、本津総合会館
(☎68・0217)へ。

役場の仕事は？

【17】連絡所の紹介

町役場の窓口業務の出発点として、日生・六瀬連絡所があります。連絡所では、主に次のような仕事をしています。

- 住民課関係業務
住民票、戸籍証明、戸籍謄抄本の交付、年金の現況届届出、交通共済共済の加入、ゴミカレンダーの配布、チャイルドシート・生ごみ処理機補助金の申請
- 健康福祉課関係業務
福祉医療（福祉医療費の返還）、老人保健、児童手当等の申請、母子手帳の交付
- 保険課関係業務
国民健康保険（高齢医療を含む）、国民年金（学生特例を含む）の加入・喪失・介護保険の申請
- 税務課関係業務
所得、評価および納税の証明書の交付（町税などの納付は、出納室または各課の金庫内）
- 教育委員会関係業務
イナホール入場券の販売など

○各連絡所の業務
・日生連絡所＝日生公民館および、うぐいす池公園テニスコート使用申請の受付
・六瀬連絡所＝六瀬コミュニティセンター（六瀬公民館）の使用申請の受付

このように、連絡所では地域住民の利便性向上のためのサービスを提供し、より身近なところで町政の運営に関与しています。

なお、町役場各窓口でなければ処理できない業務もあります。お問い合わせは、日生連絡所（☎00-1421）、六瀬連絡所（☎08-0001）へ。

テレビで活躍中の桂小枝さん



▲まんがでわかりやすく解説

まんがで見る播磨川の歴史 本を発売

播磨川は、播磨の歴史を刻み、人々の生活を支えてきた。その歴史を、まんがでわかりやすく解説した『まんがで見る播磨川』が、8月15日より、日生・六瀬連絡所、各公民館、図書館などで販売されています。

この本は、播磨川の歴史、文化、自然などを、まんがと合わせて紹介しています。興味のある方は、ぜひ手に取ってください。

問い合わせ先：日生連絡所（☎00-1421）、六瀬連絡所（☎08-0001）

「播磨川町美術展」の出品

ふるさと館講座 手打ちうどん1日教室受講者

播磨川町美術展の出品作品は、ふるさと館講座「手打ちうどん1日教室」の受講者による作品です。

この教室では、手打ちうどんの作り方を学び、自分だけの作品を作りました。作品は、8月15日より、播磨川町美術館で展示されています。

問い合わせ先：播磨川町美術館（☎08-0001）

募集します

公民館講座 木版画教室受講者

公民館講座「木版画教室」の受講者を募集します。

この教室では、木版画の作り方を学び、自分だけの作品を作ります。作品は、8月15日より、公民館で展示されています。

問い合わせ先：公民館（☎00-1421）

福祉コーナー

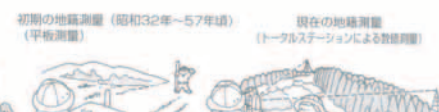


測量技術の変遷

測量技術の変遷

測量技術は、日々進歩してきており、現在では非常に正確に測量することができるようになりました。

町では、測量技術の進歩に合わせて、測量の方法も変わってきました。現在は、GPS測量を取り入れ、測量精度を向上させています。



測量技術の変遷

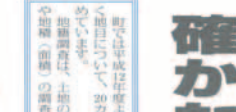


測量技術の変遷

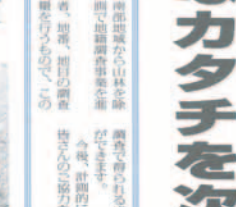
測量技術の変遷

測量技術は、日々進歩してきており、現在では非常に正確に測量することができるようになりました。

町では、測量技術の進歩に合わせて、測量の方法も変わってきました。現在は、GPS測量を取り入れ、測量精度を向上させています。



測量技術の変遷



測量技術の変遷

測量技術の変遷

測量技術は、日々進歩してきており、現在では非常に正確に測量することができるようになりました。

町では、測量技術の進歩に合わせて、測量の方法も変わってきました。現在は、GPS測量を取り入れ、測量精度を向上させています。

確かなカタチを次世代へ

町では、測量技術の進歩に合わせて、測量の方法も変わってきました。現在は、GPS測量を取り入れ、測量精度を向上させています。

水は限りある資源です。

大切に使いましょう！



水は限りある資源です。

大切に使いましょう！



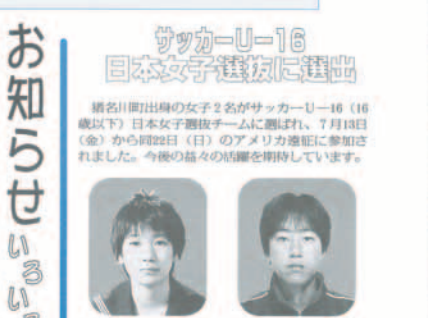
大切に使いましょう！

大切に使いましょう！



大切に使いましょう！

大切に使いましょう！



大切に使いましょう！

情熱を見て欲しい!

ティーンズロックフェスティバルは、猪名川町青少年健全育成連絡協議会と猪名川町教育委員会が主催するイベントです。10代の若者を中心としたロックコンサートに行政が取り組むということ、周囲の協力など言えるでしょう。

2回目となった昨年は、司会や照明、音響などスタッフとしての仕事や大人と若者が共にやっていきました。プロの照明や音響を間近で体験したり、司会者として舞台に立ったりと、初めてのことが多かったが、みんな一生懸命取り組んで、自分達の力で何かができるという手応えを感じた年になったように思います。

若者たちによる実行委員会を結成

8月4日の当日に向けての準備から後片付けまでを自分達の手で行っていくため、今回初めて若者達による実行委員会が作られました。これは、スタッフの役割分担の作成など、様々なことを取りまとめるための決定機関です。

7月14日初めての実行委員会が開催されました。今回募集した見えて集まった出演者は7組、スタッフは8名の高校生です。全員が実行委員会のメンバーとなり、その中から正副委員長が選出されました。



本・番・当・日

自分達の出演まで、廊下や楽屋で黙々と練習を続けていた出演者。ものすごく暑く、一人でステージに照明を当てたり、リハーサルからずっと出演者の手助けをしていたスタッフ達。本番の日、私達は色々な所でたくさんの、ひたむきに頑張っている姿を見ました。華やかなステージを支えているのは彼ら自身なのです。

この日の観客は、約350人。若者のみならず、幅広い年齢層の方が来られていました。途中で帰られる方も少なく、最後までこのコンサートを楽しんでいました。

スタッフの皆さん



8月3日本番前日、出演者、スタッフが準備を行いました。とても暑い中での作業で汗をかきながらも、みんな一生懸命でした。会場の設営やプログラムの印刷、機材の搬入など、各自担当を振り分けて懸命に取り組む姿は「自分達の手で、明日のステージを成功させるんだ!」という意気込みが伝わってきました。本当にお疲れ様。

2回目以降の委員会では、次第に打ち解けていき、各々の責任をしっかりと感じ取っているように思いました。このロックフェスティバルは、回を重ねることに少しずつ、確実に若者達主導のものになってきています。大人が理解を示し、お互いが手をとり合うことによって若者達は生き生きと輝いていくのだということを実感しました。

出演バンド!

1. MAPHIA
2. Deep in Deava
3. Loopin
4. 猪名川中学校音楽部(バンド)
5. ボブ+1
6. BLUELINE
7. An illusion



3 このメンバーで最後のステージ楽しかった



2 ステージが大きいので、気分良くやれた



1 めざせCD100万枚! 来年も出ろぞ!!



7 去年よりレベルアップした演奏ができた



6 お客さんの反応がうれしかった



5 普段やってる路上とは違う良さがあった



4 来年も頑張って絶対に出たい

ロックフェスティバルの日と原稿の締め切り日が、ぎりぎりだったため、今回初めて締め切りを逃したという体験をしました。本日に間に合うのかハラハラしながらの取材でした。

普段あまり関わることのない年代の彼らと話をすることができて、私たち自身の視野も少し広がったように思います。今回私達は、準備段階からずっと彼らの姿を追ってきました。目標を持って一つのことを成し遂げていくから、元氣なエネルギーをもらいました。今まで以上に、ごまかす自分達の手でコンサートを盛り上げていけるのか、また町全体にいかにか定着できるのか、今後の課題だと思います。